

上田仮説サークルニュース		2月例会	2017.02号
編集責任 遠藤 裕		発行2017.3.18	
〒383-0041 中野市岩船426-3 サカゲテの中野 B-G		TEL 0269-23-2847	携帯 090-1406-9115
メール endo-h@cronos.ocn.ne.jp		勤務先 長野工業高校	TEL 026-227-8555

2月18(土) 上田市中央公民館 3F第2学習室・第1学習室
午後 3:00 ~ 9:00



参加者数 10名
資料総ページ 127 ペ

<参加者> 柳沢克央さん, 増田伸夫さん, 大塚浩文さん, 渡辺規夫さん,
坂口富雄さん, 北村秀夫さん, 北村知子さん, 高見沢一男さん,
池田みち子さん, 遠藤裕

はじめに 2月例会の参加者は10名。最近では一番多い参加者数でした。

レポートは、柳沢さんから4本、増田さんから4本、渡辺さんから5本の合計13本の発表。総ページ数は127ページで、前回と同様に内容の濃いたくさんの発表がありました。

柳沢さんは、読書メモで11冊の本を紹介、20ページにおよびます。また、各社の新聞の切り抜きと「アクチブラーニング」を批判する文章(力強い内容です)。これは文科省に送付したとのこと。「幕末に見る立憲主義の芽生え」の記事は、前回紹介された上田市出身の関良基さんの出版された『赤松小三郎ともう一つの明治維新』の本の内容が引用されています。渡辺さんが初版本を販売してくれました。

増田さんの<今月の本紹介14>は44ページにおよぶもの。一神教の起源に対する理解を深める内容です。いつものように予想を立てながら参加者でじっくり読みました。

『一神教の起源』『多神教と一神教』の本をもとにした年図を2本紹介。<今月のお話>は牧さんの講演から「管理はやる気を起こさせるための手段」。教員の方には一読をお勧めの内容です。

渡辺さんからは授業関係のレポート。《しゅぼしゅぼ》《不思議な石 石灰石》のアンケート集計、私立高校での物理の授業のアンケート、「専門学校生と仮説実験授業」、テスト問題の紹介。生徒さんの授業の感想が多く載せられており、渡辺さんのたのしい授業の様子が伝わってきます。また、「まちかどクラブ」(上田自由塾)のパンフレットの紹介がありました。日程さえ合えば参加したいと思っているのですが…。

高見沢さんは、<おだんごパズル>を2種類作ってきてくれ、参加者のみなさんに配ってくれました。『もの作りハンドブック』などにも載っているのですが、自分ではなかなか作ってみるところまでいきませんでした。作るのは手間のかかる作業だと思います。高見沢さん、ありがとうございました。

終了後、「大戸屋」で夕食会。(このところ大戸屋が定番。)

1. 発表資料

① サークルニュース 1月例会 遠藤 裕 (10ペ)

1. 発表資料

- ① サークルニュース 12月例会 遠藤 裕 (9ペ)
- ② 信毎記事の紹介:「赤松子三郎ともう一つの明治維新」刊行 柳沢克央さん (1ペ)
—^{よしき}関良基拓殖大准教授が「赤松小三郎ともう一つの明治維新」刊行—
- ③ 紹介:「シリーズ わたしの実践・わたしの研究」 柳沢克央さん (2ペ)
—学ぶことをやめたとき、教えることをやめなくてはならない—
- ④ 読書メモ2017年1月号 柳沢克央さん (36ペ)
—^{かわさきあつし}川崎 享 著『英国の幻影』(創英社)ほか—
- ⑤ 紹介: ^{にしはらふみあき}西原史暁編 「米国の大学の授業でよく使われている文献 トップ100」
柳沢克央さん (12ペ)

西原史暁氏のウェブサイト“Colorless Green Ideas”からの紹介。

- ⑥ 紹介: ^{にしはらふみあき}西原史暁「最近10年間のフランスのパカロレアの哲学試験で扱われた哲学者」
柳沢克央さん (6ペ)

西原史暁氏のウェブサイト“Colorless Green Ideas”からの紹介。

- ⑦ ^{さわたかみつ}佐和隆光氏関連資料紹介 柳沢克央さん (12ペ)
「滋賀大学ホームページ」からの紹介。
- ⑧ <今月の本紹介11> 増田伸夫さん(32ペ)
要約:世界の中心は“となり・となり”へと移っていった
- ⑨ <一気にわかる世界史>年図(「繁栄の中心」の移り変わり) 増田伸夫さん(1ペ)
『一気にわかる世界史』をもとに増田さんが作成した年図の紹介。
- ⑩ <『ユダヤ人とは誰か』に登場する各国の宗教の変遷>年図 増田伸夫さん(1ペ)
『ユダヤ人とは誰か』をもとに増田さんが作成した年図の紹介。
- ⑪ 講演:「日本の政治と経済の行方」 《講演メモ》 増田伸夫さん(8ペ)
<2017新春経済講演会>(1/12(木))での長谷川幸洋氏の講演メモ。

2. もの作り講座

〈ペットボトル・トルネード〉 講師:高見沢一男さん

② 読書メモ2017年2月号 柳沢克央さん (20ペ)

—山田由美子著『原初バブルと《メサイア》伝説』(世界思想社)ほか—

柳沢さんが読んだ本の紹介。

◇はじめに

先月号の「読書メモ」と同様、サークルで発表することを目的とすると、読書がはかどるので、今回もこのメモを作成しました。自身のため、記録を残すことが第一目的です。みなさま、よろしく（適当に）おつきあい下さい。今までのものと同様に説明あり、引用あり、要約あり、感想ありで諸々が混交しておりますのでご注意を。（私物）と書き添えてあるもの以外はすべて篠ノ井高校図書室蔵書。

◇読書記録または読書メモ（順不同）

- ◎山田由美子著『原初バブルと《メサイア》伝説』（世界思想社・2009年）（私物）
- ◎福原義春著『私は変わった変わるように努力したのだ』（求龍堂・2010年）（私物）
- ◎高倉健著『あなたに褒められたくて』（集英社文庫・1993年初版・2014年23刷）
- ◎梶本修身^{かじもとおさみ}著『すべての疲労は脳が原因』（集英社新書・2016年）
- ◎長谷川權^{かいは}著『文学部で読む日本国憲法』（ちくまプリマー新書・2016年）
- ◎福地孝宏著『学級経営サポートBOOK・あわてないためのトラブル対処術』（明治図書・2017年）（私物）
- ◎鍵本聡著『計算力を強くする』（講談社ブルーバックス・2005年）
- ◎島地勝彦著『知る悲しみ — やっぱり男は死ぬまでロマンティックな愚か者』（講談社・2011年）（私物）
- ◎榎（えい）出版社編『チョークアート』（ムック）（榎出版社・2016年）（私物）
- ◎ヴァレリー・マキーン著『チョークアート・ボタニカル塗り絵』（ブティック社・2016年）（私物）
- ◎Asami 著『大人黒板 — おしゃれなチョークアートの描き方 — 』（ソシム株式会社・2016年）（私物）

◇まとめ

今月、思ったこと。音楽鑑賞でも仕事でも読書メモの作成でも日々の生活でも、やっていることはみんな一緒。ひとことで言うとそれは「情報処理」である。

音楽鑑賞も授業も本を読んで文章を書くということも、毎日生活していくということも全部、「情報を取り入れて、脳内で処理・解釈して、必要に応じて臨機応変に出力する」という点で、やっていることはすべて同じことである。もちろん、音楽鑑賞では「気に入った演奏家のCDは芋づる式に買う（演奏会に行く）。気に入らない演奏家のものは買わない（チケットを買わない）」という出力をするという点で「時間差」はあるけれど、やっていることはみんな一緒。ある程度、負荷がかかった方が生きている実感が湧く、というのが今のところの私の考えである。

「食物を摂取して、エネルギーを得て活動し、呼吸や排泄をしながら生きていく」営みにも似ている。何を食べるか（食べないか）ということは大事なことだと思う。

この理論に拠れば「読書メモ」はささやかな私の知的な活動の「排泄物」のようなものだから、出版するつもりはない。著作権上、大きな壁もある気がする。

ただ、知的なトレーニングとして、この手法は有用だと思うし、励ましの声ももらえるので続ける気になれている今日この頃です。上田仮説サークルの皆様、今月もおつきあいいただき、ありがとうございました。2017年2月16日(木)脱稿。

追記 明日17日(金)は教育センターで岩藤英司先生〔東京学芸大附属高等学校理科教諭〕の実験講習会に参加する。楽しみだ。

(柳沢さんの読書メモは毎回楽しみです。柳沢さんにとって「読書メモ」はささやかな知的な活動の「排泄物」のようなもの、とのこと。自然体で今後も続けていただけたらと思います。 エンドウ)

③ 新聞記事(切り抜き)の紹介 柳沢克央さん (B4 8ペ)

「学習指導要領改定案」についての新聞記事の紹介。

朝日新聞 2017・2・15(水)

学習指導要領改定案 「自ら学ぶ方法」工夫した授業で 無藤 隆さん(中央教育審議会 教育課程部長会)

詳細な記述 マニュアル化の恐れ 安彦忠彦さん(神奈川大特別招聘教授)

理念の実現には環境整備が急務 平川理恵さん(横浜市立中川西中学校長)

内容は納得 課題は「時間」の確保 前田康裕さん(熊本市立向山小教頭)

朝日新聞 2017・2・8

小学校 総則 「領土」政権の考え方反映 現場へ要求「多すぎ」 ×「アクティブ・ラーニング」→「主体的・対話的で深い学び」

毎日新聞 2017・2・15(水)

小学校 総則 教育課程の役割明記 社説 新学習指導要領 がんじがらめは避けよ 次期指導要領 英語小3から プログラミング必修

学校支える基盤を 本田由紀氏(東京大大学院教授)

「生きる力」育成重視 関根郁夫氏(埼玉県教育長)

学びの質 現場で改善 耳塚寛晃氏(お茶の水女子大教授)

教育支援 成否を左右 斎藤 孝氏(明治大教授)

読売新聞 2017・2・15

主体的学び 全教科で アクティブ・ラーニング

英語 小5から文法 指導要領改定案 竹島・尖閣「領土」明記

社説 指導要領改定案 主体的に学ぶ授業への転換を

信濃毎日新聞 2017・2・15(水)

外国語活動や英語の教科化 小3～小6 授業時間増 学習指導要領改定案

「深い学び」難しさ 県内小中学校教員

社説 学習指導要領 多面的見方を養えるか

教員にも求められる主体性 梶田叡一学長の話(奈良学園大学長)(現行学習指導要

領の改定に関わった)

学びのサイクル確立が必要 益川弘如准教授の話(静岡大・学習科学)

到達目標設けた意義大きい 吉田研作言語教育研究センター長の話(上智大)

文部科学省は来月 15 日まで意見公募を始めた。郵便，ファックス，電子メール，電子政府窓口で受け付け。

(新聞社 4 社の記事の切り抜きです。記事を探すのに大変だったことと思います。目を通していただいて，何故「アクティブラーニング」という言葉が流行したのか不思議です。一過性のものか？ サークルでは，仮説実験授業をしていれば大丈夫という認識があったので，取り立てて話題にもなりませんでしたが。 エントリ)

④ 「アクティブラーニング」は戯言^{たわごと}または喃語^{なんご}に過ぎない 柳沢克央さん (1 ペ)

柳沢さんの「アクティブラーニング」についての批判文章。

2017 年 2 月 9 日 (木) 午前 11 時 50 分頃，私は教室で生徒たちに課題を与えて自習させながら，生徒たちから回収した化学実験レポートの添削をしていた。この作業に深く集中している最中に，思いがけず文部科学省が提唱している「アクティブラーニング」が全く無意味なスローガンに過ぎないことを明確に認識するに至った。次にその経緯を述べる。

*

本来，学習 (ラーニング) というものは主体的，能動的な精神活動である。したがって，「パッシブラーニング (受動的学習)」というものは原理的にあり得ない。すなわち，改めて言うまでもないが，学習とはその本来の章味において必然的にアクティブなものである。

従来，受動的な学習と考えられがちであった聴講，黙読，筆写などの学習方法も，正しく行われるならば十分に能動的な学習になることが忘れられているのではないか。もしそうだとするならば，それは危険なことであると言わねばなるまい。

「アクティブラーニング」という言葉は，「空飛ぶ飛行機」，「白い白墨」，「日本手ぬぐい」，「いちばん最初に」などと同様に推敲の甘い「重複表現」に過ぎない。それと同時に，この言葉はそれを用いる者やその追従者の授業に対する認識が，その程度のものであることを示す，何よりの証拠になっているのである。要するに「馬鹿丸出し」である。「馬鹿が百人集まると百倍馬鹿になる」(山本夏彦) という箴言が想起される。文部科学官僚にこれが適用できるかどうかは不明である。

*

私は断言する。「アクティブラーニング」は基本的に眉唾物であり，まともな教育関

係者が全く取り組むに値しない空疎なテーマであることを。

私は予言する。「アクティブラーニング」という言葉を用いた書籍・論文の類は再現性を保証したものでない限り全く役に立たず、深追いすればするほど時間と労力と資源の無駄遣いになることを。

結論はタイトルの通りである。「アクティブラーニング」よ、サヨウナラ。「蒟蒻問答」の季節は終わった。私をこの決然たる結論に導いてくれた篠ノ井高校生の極めて熱心で黙示的な学習態度に深甚なる敬恵を表しつつ、ここに筆を擱く。

[2017年2月10日(金)]

(メールや封書だと担当者に握りつぶされればそれきりになってしまう。この文章をハガキ2枚にわたって手書きで書き写し、「文部科学省アクティブラーニング担当者様」という、最も「たらい回し」にされそうな宛先を書いて投函した)

(柳沢さんの「アクティブラーニング」に対する鋭い指摘です。文科省の官僚の目にとまることで、教育界が何か発展してくれればいいですね。 エドワリ)

⑤ 紹介： 幕末に見る立憲主義の芽生え 朝日新聞編集委員 国分高史 柳沢克央さん (1ペ)

朝日新聞の記事(2017.2.12)の紹介。



2017年2月12日(日) 朝日新聞 紹介 柳沢克央

(関良基さんの出版された『赤松小三郎ともう一つの明治維新』は、渡辺さんが販売してくれましたので、例会の時に購入しました。是非読んでみたいと思います。憲法の学習をする上でも。エドワリ)

⑥ <今月の本紹介14>

増田伸夫さん(44歳)

要約：パラダイム転換が唯一神教をもたらした

問題の予想を立てながら読む本の紹介。問題が19と質問が5あります。

☆山我哲雄著 『一神教の起源 -旧約聖書の「神」はどこから来たのか-』(筑摩選書)

(2013年8月15日第1刷発行) 定価：本体1800円(税別)

著者は北星学園大学経済学部教授，北星大学大学院文学研究科教授を兼務(専攻は宗教学/旧約聖書学/古代イスラエル史学) 著書に『聖書時代史 旧約篇』(岩波現代文庫)，『これだけは知っておきたいキリスト教』(洋泉社)，『キリスト教入門』(岩波ジュニア新書) など

前々回読んだ木村凌二著『多神教と一神教』では，<心性の変化>をもとに多神教から一神教への変貌が興味深く語られていた。では一神教の神とはどんな神なのだろうか。

3つの一神教，ユダヤ教・キリスト教・イスラム教はどれもが『旧約聖書』の神ヤハウェを母体としている。本書では，その<神ヤハウェがいかにして生まれたか>を最新の聖書学や古代イスラエル史学から解き明かしてくれている。そこで，今回も設問形式で本紹介を試みたい。

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ◇紀元前後の一神教徒の人口比率 ◇「^{はい}拝一神教」と「^{ゆい}唯一神教」 ◇ユダヤ教，キリスト教，イスラム教などの分類 ◇フロイト仮説とアクエンアテンの一神教 ◇「族長物語」における創世記観念の史実性 ◇「出エジプト」の『聖書』観念の史実性 ◇ヨシュアの軍事力によるカナン征服の史実性 ◇「原イスラエル人」の構成 ◇民族の成立(自給自足→部族連合→民族→王制国家) ◇イスラエル民族の統合を作り出した要素とは？ ◇イスラエル民族統合の4要素 ◇イスラエルの神(固有名詞)の表記 ◇ユダヤ人にも分からなくなってしまった神名の発音 ◇人名に現れる神の崇拜 ◇創世記の族長や息子たちにおけるヤハウェ系人名 ◇ヤハウェ系人名が示唆すること ◇人名研究から浮かび上がるヤハウェ崇拜の推移 ◇ヤハウェ信仰以前にイスラエルが崇拜していた神 ◇エルとヤハウェの同一視(習合) ◇ヤハウェはもともとどの神だったのか ◇王国の成立とヤハウェ(国家神・王朝神) ◇「妬みの神」 ◇他の神々の崇拜禁止は，どの程度守られていたのか？ | <ul style="list-style-type: none"> ◇古代イスラエル宗教信仰の階層性 ◇北王国でのヤハウェ以外の崇拜 ◇預言書と預言者エリア ◇エリア物語の神観と歴史的意味 ◇預言者エリシャとクーデター(イエフ王朝の正当化) ◇愛の預言者ホセア ◇神観の普遍化(唯一神教への道を準備するもの) ◇(南王国の首都)エルサレムの預言者イザヤ ◇予言者たちの神観(拝一神教的・普遍的な神観) ◇南王国ヨシア王の「律法の書」と宗教改革 ◇「申命記」はいつ，何のために書かれたのか ◇「申命記」の性格(「契約の書」の改訂版，条約文書) ◇「申命記」の神観 ◇<祭儀集中>と<北王国出身者を含めた国民統合> ◇ふたつの「倫理的十戒」 ◇「祭儀的十戒」→「倫理的十戒」 ◇申命記運動の意義(申命記史書)と挫折 ◇ユダ王国の滅亡とバビロン捕囚(=第二次捕囚) ◇信仰の危機(ヤハウェがバビロニアの神々に負けた！) ◇「申命記」への捕囚期以降の編集 ◇マナセの罪(破局の全責任をマナセに負わせる) ◇「第二イザヤ」と唯一神教の確立(パラダイムの転換) |
|---|---|

さてさて，本書を一言で言うならば，「まず『旧約聖書』を<古代イスラエル人の信

仰の歴史>として大きくとらえ（もちろんその史実性については、聖書外史料や旧約聖書学などで個々に検討するわけであるが）、『旧約聖書』を注意深く読み解くことによって、<ヤハウェという神がいかにして生まれ、唯一神教がいかにして成立したか>を鮮やかに描き出した本」ということになるだろうか。

その中でも「ユダ王国滅亡とバビロン捕囚という破局的な事態がヤハウェのみ信仰に深刻な危機にもたらしたその時に、<ヤハウェの民>第二イザヤによって起死回生のパラダイム転換（＝信仰的革命）が引き起こされ、その結果唯一神観が生まれたのだ」と著者は考えている。

．．．．．

本書において残念だったのは、「索引」がついていなかった点である。そのために大変に不便な思いをした。「索引」の重要性を再確認することとなった。

本書は<一神教の起源>に対する私の問題意識に重要な知見を与えてくれた。大変な良書である。（増田）

（『旧約聖書』を<古代イスラエル人の信仰の歴史>としてとらえる。そうすれば、私のような無神論者でも旧約聖書に興味をわいてくるかもしれません。 エドワリ）

⑦ <古代イスラエル人の信仰の歴史>年図 増田伸夫さん（1ペ）

山我哲雄『一神教の起源』をもとに増田さんが作成した年図の紹介。

⑧ <古代地中海世界の宗教>年図 増田伸夫さん（1ペ）

『多神教と一神教』（岩波新書）をもとに増田さんが作成した年図の紹介。

⑨ クリスマス特別授業《しゅぼしゅぼ》について 渡辺規夫さん（4ペ）

感想・要望・意見

専門学校での1年生におこなった授業の感想・評価。

学生さんの感想より

・実験をしてみないとわからないことがたくさんあったので、楽しかったです。マッシュマロがあんなに大きくなるとは、思わなかったので驚きました。先生の実験はいつもためになるし、みんなが楽しくできることを考えられていてすごいと思いました。

・とても楽しかったです。真空にした物の蓋は本当に力を入れて引っばってもとれなくて驚きました。実際にラップと缶を使って真空になる実験もできてよかったと思います。中学や高校でやった科学の授業も今回みたく楽しければよかったなと思いました。

・真空真空って言うけれど、それが何なのか考えたことはありませんでした。空気はとてつもなく小さな粒でできていることにあまり実感が持てていなかったのですが、今回の実験でイメージすることができたと思います。ゲーリケさんの宇宙を手のひらに持って

くるという考えはとても画期的だなあと思いました。

(以下キーワードのみ) 爆発にびっくりした / ゲーリケさんはすごい / 実際にやってみてわかりやすかった / 不思議な現象を見ることができた / 簡単な言葉でイメージできやすい / ビールの泡とマシュマロが印象的 / 興味を持つことが大切 / わかりやすくてたのしい

アンケートによる授業評価は、〈たのしかったですか〉、〈わかりましたか〉、〈ためになりましたか〉についてほとんどの生徒さんが5

(学生さんの感想は、楽しかったというものがほとんど。専門学校生でも同じなんです。授業書の威力に驚かされます。 エトワ)

⑩ 《不思議な石 石灰石》授業アンケート集計結果 渡辺規夫さん(8ペ)

不思議な石 石灰石 授業アンケート

授業評価の考察と生徒さんの授業の要約、感想の紹介

授業の評価 わかりましたか 4 : 4人 3 : 6人 無回答 : 1人

たのしかったですか 5 : 8人 4 : 1人 3 : 1人 無回答 : 1人

渡辺さんは、〈わかりましたか〉の評価3が6人いたことについて、小テストと高校での履修状況との関係进行分析し、「高校で化学を履修しているかどうかは《不思議な石 石灰石》の理解とは関係がない」という結論を得ています。「理解できるかどうかは、学生次第ということになる」とのこと。

授業の感想より 実物を見たり、実際に実験をしていただいてイメージがしやすかったです。 / たくさん実験があつてわかりやすかつたし、初めて自分でモデルをいじりながら考えたので、納得しながら学ぶことができました。 / 今までこんなにたくさん実験をやったことがなかったので楽しかつたです。もっと早くたくさん実験していたら化学が分かつたのになと思つた。 / 高校のときとても苦手の分野でしたが、今回は少し楽しく学べてわかつた部分があつたのでよかつたです。 / 最初から化学反応式を使わず、模型を使いながらの方が覚えやすいと思つた。

考察

- ①実験をしたからわかるし楽しい。
- ②模型を使って考えるとよくわかる。
- ③化学式に抵抗がある学生がいる。
- ④高校のときにあまり実験をしていない様子がわかる。

まとめ

この授業を通じて、苦手だった化学がおもしろいことに気づくことができたようである。授業書による授業の有効性を示していると言えよう。

(授業書は、以前に学校で科学を学んでいるかどうかにかかわらず、授業の成果が上げられるということが実証されているようです。 エドワ)

⑪ 物理の授業について アンケート集計 渡辺規夫さん (2ペ)

私立高校3年生の物理選択者におこなった物理の授業アンケートの集計。

授業で特に印象に残った実験, 理論, 説明

◆箔検電器の実験ではなかなか予想が当たらなかったけど、説明を聞いたことによって、問題が解けるようになってよかった。 ◆右ねじの法則を確かめる実験で、器具を使うことによってイメージで理解するのみでなく、視覚的に理解することができたので、良かったです。

授業の感想・意見・要望等

◆今までの物理の先生は実験がなく教科だけで勉強していました。しかし、先生の授業では実験が多くあり、頭では理解しにくかった電気の分野も目で見ることによって、式と照らし合わせて理解することができたのでとてもわかりやすかったです。ありがとうございました。 ◆短い時間でこの量の教科書を終わるのは大変だったと思いますが、今までありがとうございました。

5段階による授業評価

たのしかったですか	5 : 1人	4 : 1人
わかりましたか	5 : 1人	4 : 1人
ためになりましたか	5 : 2人	

<渡辺さんのコメント>

授業は1時間に4ページのペース。猛スピードの授業に生徒は大変だったようだが、とてもまじめに頑張ってくれた。教師の発問にも真剣に考えてくれた。直観的に理解できることを目指し、その上で数学的に導くこと、さらにそれを実験で確かめることを省略せず授業した。生徒実験、仮説実験授業的授業も適宜取り入れた。回答数が少ないが、生徒は、授業を高く評価してくれた。授業者にとっても充実感のある授業だった。生徒のさらなる飛躍を期待したい。授業をする機会を与えてくれた松本第一高校の山崎猛校長先生と、実験器具を貸してくれた上田高校物理科の先生方に心から感謝します。

(渡辺規夫)

(授業時数に余裕のない中での物理の授業だったようです。渡辺さんはもともと授業を進めるのがはやい方だとは思っていましたが、基本的なことを省略せず素晴らしい授業をおこなったようです。

エドワ)

⑫ 専門学校生と仮説実験授業 渡辺規夫さん (16ペ)

科学大嫌いから科学大好きへ

長野医療衛生専門学校(上田市)で科学Ⅰ科学Ⅱという科目を担当しています。後期の授業は数学と仮説実験授業でした。学生さんたちの反応はとてもよく、授業を楽しんでいる様子が見て取れました。

後期(科学Ⅱ)の試験問題に次の11～13の問題を出題したそうです。学生さんの書かれた答案を紹介します。

11. 後期の授業で印象に残ったベスト3を選び、その理由を述べよ。(10点)

- ①指数関数 ②対数関数 ③生物と細胞第1部 第2部
④細胞とその社会 ⑤生物と種 ⑥クリスマス特別授業しゅぼしゅぼ
⑦不思議な石石灰石 ⑧紙芝居 贈り物

1位をつけた人数が一番多いのは 特別授業《しゅぼしゅぼ》

1位, 2位, 3位をつけた人数の単純合計は

特別授業《しゅぼしゅぼ》 9人, 紙芝居 贈り物 8人で健闘

学生さんの答案より

1位 ⑧紙芝居 贈り物

理由 一番は紙芝居です。ゴム手袋の話でしたが、昔の医療現場の実態も知れて、なおかつ今は当たり前に使われているゴム手袋の発祥を知って、患者さんだけの事を思うのではなく、スタッフの事を気にかける医師はとてもステキだと思いました。私もSTになったら、患者さんの事だけでなく、まわりのスタッフのことも気かけられるようになりたいです。

2位 ⑥クリスマス特別授業《しゅぼしゅぼ》

理由 しゅぼしゅぼは今まで気にしたことがなかった真空についてでしたが、見えない宇宙を手のひらにもってこようとする考え方がすごいと思いました。実際に実験をしてさらに考えた人の偉大さがわかりました。

3位 ⑤生物と種

12. この半年間で「予想を立て、どれがただしいのか確かめる」という意味の実験を繰り返すことで仮説を検証していく」という体験を何度もした。授業では実験結果が目の前ですぐわかるわかりやすい自然科学の問題を設定したが、この仮説実験の方法は人間関係や社会問題、仕事(ビジネス, 商売), 自分自身の人生などを対象にするときも有効である。特にく新しいことにチャレンジする時)には不可欠である。このことについて半年間で具体的にどう感じたか、それが自分のこれからのどう役立つと思うかを述べよ。(10点)

学生さんの答案より

最初は予想を立てることに自信がなくて不安だったが、半年間、仮説を検証していくことで自信がついたと感ずることができました。この自信が将来S Tになって患者様を訓練する時に相手を安心させる1つの方法として役立つと思いました。

13. 授業を振り返って、この授業を評価し、自分の生き方に引きつけてコメントせよ。(10点)

5 とてもたのしかった。4 たのしかった。3 どちらでもない。

2 つまらなかった。1 とてもつまらなかった。

5 とてもためになった。4 ためになった。3 どちらでもない。

2 ためにならなかった。1 全くためにならなかった

学生さんの答案より

後期の授業は実験がたくさんあり楽しく学べました。私は科学はとても苦手でしたが、わかりやすかったです。全体的に授業で予想を立てる大切さ、自分の意見を言うことも学べて、その2つはこれから社会に出てもS Tになってもとても必要になるので勉強だけでなく学べて、体験できてよかったです。さまざまな視点から患者さんの気持ちになり予想を立て寄り添えるS Tになりたいです。この体験をこれからも生かしていきたいです。

私は、正直理数系が得意でないし、好きでもありませんでした。公式はワケがわからないし、難しい言葉もたくさんあり、全く好きになれませんでした。しかし、この学校で渡辺先生に教えていただいてから、「こんなに覚えやすかったんだ」と思うことばかりでした。難しく覚えようとせず、わかりやすい言葉で、ときには模型などを使って学習し、たくさんの実験をするうちにイメージがつきやすくなりました。もっと早く、こんな授業をしてくれる先生に会えていたら、もっと好きになっていたと思います。今は理数系が少し好きになりました。この授業を通じて何でも苦手と決めつけずに苦手だけどやってみようと思えるような生き方をしたいです。挑戦し後悔のない一度きりの人生にしたいと思います。

<渡辺さんのコメント・まとめ>

宮地祐司さんが看護学校の試験で出しているという問題をまねさせてもらいました。答案を読むと、思った以上に学生は仮説実験的に考えることの意義をとらえてくれたように思います。

まとめ

◆高校の時まで苦手だと感じていた科学がたのしくよくわかるものだという事に気づいた学生が多い。

◆実験をしたからよくわかるという感想が多い。高校ではほとんど実験をしていないのだろうか。

◆この授業は、学生にとっては必修科目であるが、国家試験とは無関係のいわばよけいな科目である。逆にそのことによって、これまでの授業のやり方にとられる必要がなく、仮説実験授業を理想的な形でやることができる。学生は予想を立てるということに戸惑っていたが、そのやり方に慣れるにつれて、その楽しさを感じ取っていたようである。

◆年齢が進んだためもあるのか、感想文を見ると高校生より質が高い者が多い。

◆専門学校でも仮説実験授業は大いに有効である。

(専門学校生のみなさんが、たのしそうに渡辺さんの授業を受けている様子が目に映るようです。

エトワリ)

⑬ 科学Ⅱ試験問題 渡辺規夫さん(2ペ)

専門学校での科学Ⅱのテスト問題の紹介。

(⑫のレポートに仮説実験授業に関連した問題が載っています。 エトワリ)

⑭ <牧：今月のお話9> 楽, 正, 早, 安 増田伸夫さん(8ペ)

－ 管理はやる気を起こさせるための手段 －

上田仮説出版 『牧衷講座記録集Ⅷ 一人間関係論と仮説実験授業一』

「企業管理者から見た学校の現状とこれから」より

2003/7/5 中信地区高校教育研究会総会 松本市勤労会館にて

テープ起こし：北村秀夫氏&渡辺規夫氏 編集：渡辺規夫氏

再編集・文責：増田

◇労務管理の要諦 — 楽, 正, 早, 安

◇企業管理は人を大事にする

◇人間関係をつくる — 洗練された行儀作法

◇文句の聞き方でトラブルは激減する

◇生徒のやる気がすべて

◇先生方にやる気を起こさせるための数値目標管理

<あとがき>

長野県の高校で「教員評価シート」の記入が始まったとき、校長が私の記入内容を褒

めてくれたので、「この教員評価制度は、＜先生のやる気を起こさせるために＞やるんですよね」と校長に話したことを思い出しました。

また、この講演の最初に出てくる「労務管理の鉄則－楽・正・早・安」について、牧さんは別の講演で「たしかに企業の労務管理においては、＜楽・正・早・安＞と安全がシッポについてしまうのが企業というものですが、学校の授業では（いかにたのしい授業学派といえども）「安・楽・正・早」と安全が頭に来なくちゃいけません」という趣旨のことを語っています。これは仮説実験授業の社会的使命を考えたとき、大変に重要な指摘であると思います。

なお、『たの授』2016. 2月号に松田心一さんの「仮説実験授業に学んだ学校経営（下）」と題する記事が掲載されましたが、その中に『牧衷講座Ⅷ－人間関係論と仮説実験授業－』の本のことが触れられています。また、苦情処理のノウハウに関しては『今月のお話3』「牧10：上手な負け方（撤退の秘訣）」も併せてお読み下さい。（増田）

（牧さんのお話、何回読み直してもいいですね。多く方に読んでもらいたい内容です。 エンドウ）

2. もの作り講座

〈おだんごパズル〉

講師：高見沢一男さん

今回は、高見沢さんが作ってくれたものを使って、みんなでピラミッド型に組み立ててみました。私はうまくいきませんでした。じっくり時間をかけて挑戦してみたいと思います。高見沢さん、ありがとうございました。

あとがき 3月に入り、日に日に春の陽気が強さを増してきました。

この時期は一年の節目。職場や身近での環境が変わる方も多いことと思います。私は今の職場（長工）に残留となりました。8年目になりますので、なんとか新鮮な気持ちを忘れずに一年間頑張りたいと思います。サークルの皆さまにもよろしく願いいたします。（エンドウ）



★ 今後の予定 ★

4月22日(土)

5月27日(土)

6月24日(土)